

令和元年 8 月 16 日
広島地方気象台

令和元年 8 月 14 日から 15 日にかけての
台風第 10 号による強風と高潮について
(広島県の気象速報)

8 月 6 日マリアナ諸島で発生した大型の台風第 10 号は、日本の南をゆっくりと北西進し、15 日 11 時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過、同日の 15 時頃、呉市付近に上陸しました。このため、県内では強風による被害が発生しました。この時の気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

広島県内では、台風の接近と共に次第に風が強まったため、15 日 04 時 17 分広島県全域に暴風警報を発表しました。

広島県内のアメダス観測地点では、尾道市生口島で最大瞬間風速 23.4m/s (15 日 02 時 34 分)、最大風速 13.4m/s (15 日 04 時 11 分) を観測しました。この尾道市生口島の最大風速は、8 月の 1 位の値を更新 (通年の 2 位) し、最大瞬間風速は 8 月の 2 位の値となりました。また、三次市三次町、神石高原町油木、世羅のアメダスでも、8 月の風の極値を更新しました。

この影響により、尾道市で死者 1 名、安芸高田市で重傷者 1 名が発生したほか、福山市、府中市で住家等の一部損壊するなどの被害がありました。

なお、詳細は以下の URL からご覧になれます。

https://www.jma-net.go.jp/hiroshima/siryo/20190816_sokuhou.pdf

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです (16 日 15 時現在)。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：広島地方気象台 電話 082-223-3953